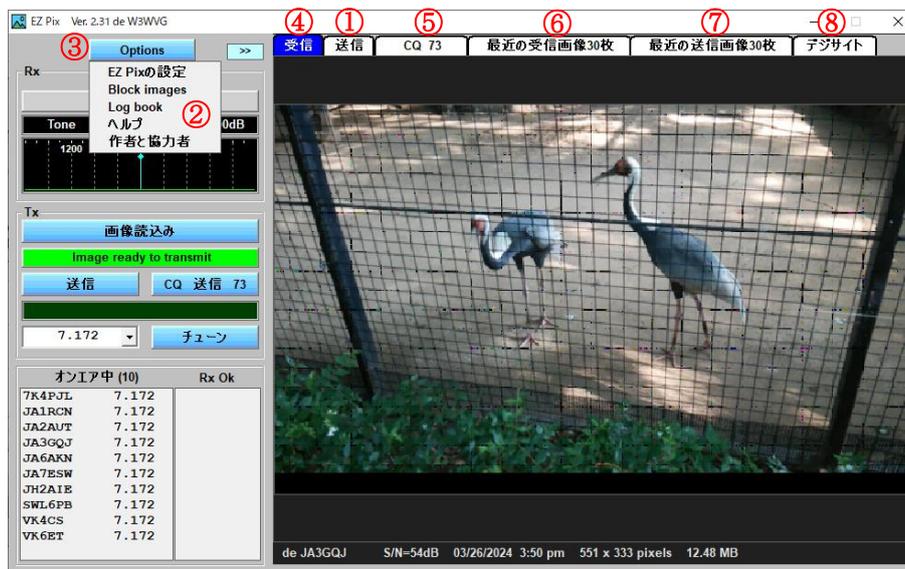


私が体験した EZPix バージョン 2.31 の新しい機能

Shu JA3GQJ

私は EZPix バージョン 1.1 2 を初めて使った。その後バージョン 1.1 5 を体験してバージョン 1.1 2 の使用体験記をもとにバージョン 1.1 2 と 1.1 5 の差異の記録を PDF にまとめた。最近テストバージョン 2.31 の存在を知ったのでその新しい機能の使用体験を PDF にまとめる。残念ながらテストバージョン 2.31 は使用言語を日本語にしても一部英文の表示が残っており、特に画像を送信した後に出るコメントは一見 JA では使用できないような印象を与える。しかし理由（原因）を理解すれば問題なく使用できる。2023年09月22日の「EZPix(ver1.12と1.15の違い)」や2023年08月15日のEZPix(ver1.12)使用体験記」と合わせて読む必要がある。

1. EZPix の操作パネル (図 1)



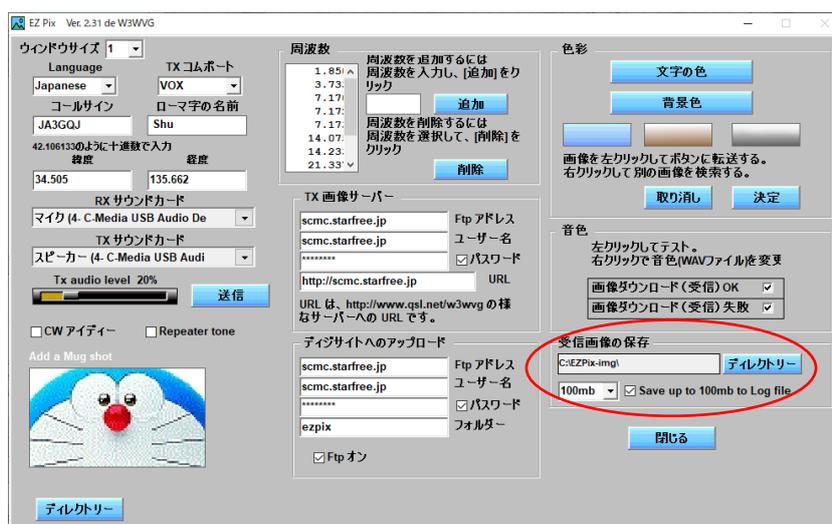
(図 1)

Options ボタン

このボタン (図 1 - ①) をクリックすると (図 1 - ②) のように「EZPix の設定」「Block image」「Log book」「ヘルプ」「作者と力者」のリストがポップアップする。

EZPix の設定

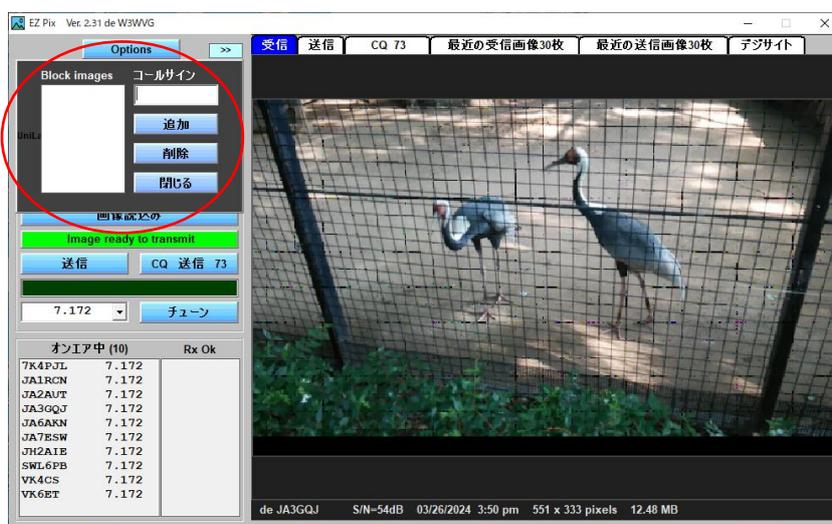
リスト (図 1 - ②) から「EZPix の設定」を選択して開く設定画面 (図 2) の右下の「受信画像の保存」フォルダーが受信画像の枚数から受信画像の合計容量 (Mb) になった。



(図 2)

Block image

リスト (図 1 - ②) から「Block image」を選択すると受信をブロックするコールサインを設定する機能 (図 3) が追加されていることが分かる。



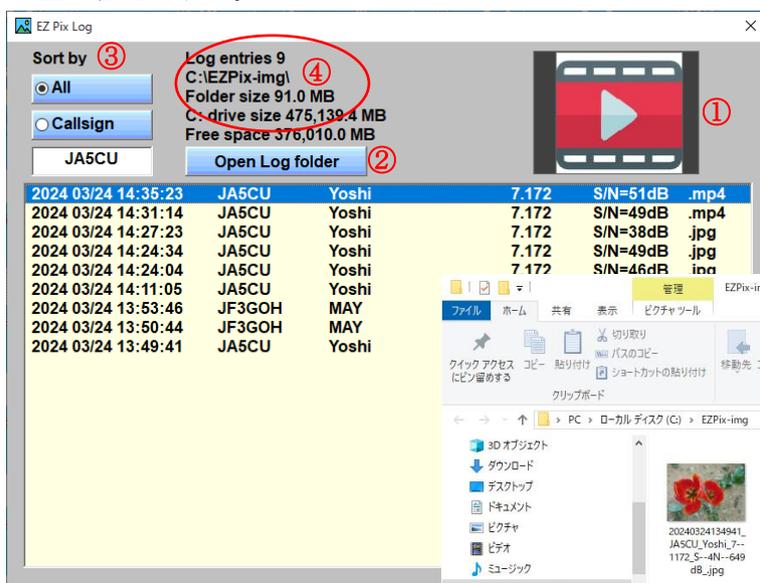
(図 3)

Log book

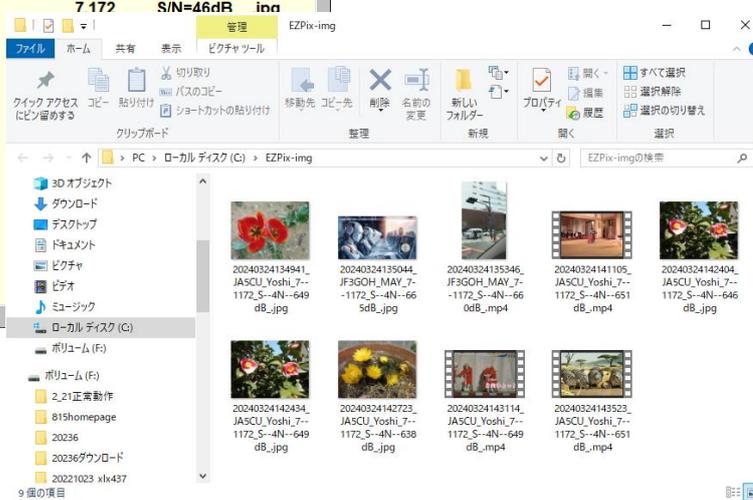
リスト (図 1 - ②) から「Log book」を選択すると受信画像のログ画面 (図 4-1) がポップアップする。この画面のリスト (図 4-1-①) の私の解釈 は次の通り。

- Log entries : 記録した局数
- C:\EZPix-img : EZPix の設定画面で各人が設定したフォルダーのディレクトリー
- Folder size 91.0Mb : フォルダーの現在容量
- C:drive size 475,139.4Mb : 各人が使用しているドライブ C の容量
- Free space 376,010.0Mb : 各人が使用しているドライブ C の空き容量

ファイルのロゴマーク (図 4-1-②) をクリックしたら受信したビデオが再生できる。「Open Log folder」ボタン (図 4-1-③) をクリックしたら (図 4-2) のようにフォルダーが開く。その中のファイルをクリックしたらビデオの再生や静止画の表示ができる。Sort by (図 4-1-④) は選択したラジオボタン (All, Callsign) に基づいてリストの並び替えをする。



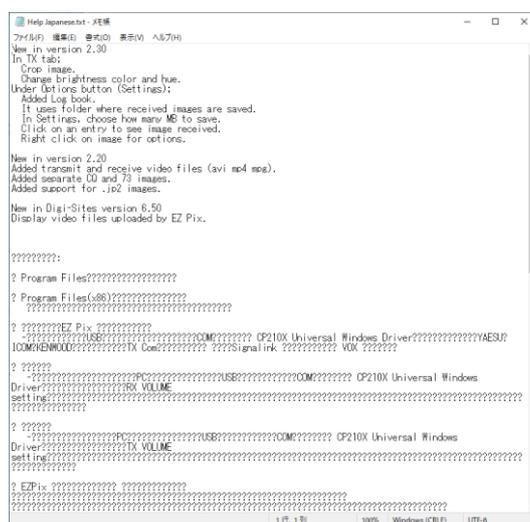
(図 4-1)



(図 4-2)

ヘルプ

日本語の場合文字化けで読めない。(図 5)



(図 5)

作者と協力者

各人の写真が表示される（図6は作者の W3WVG）



(図6)

2. 操作パネルのタグについて

・「送信タグ」(1ページ 図1-③)

ビデオ(avi mp4 mpg)を送信する場合

「画像読み込み」ボタンをクリックしてビデオのフォルダーを開く（図7-1） → 送信したいビデオファイルをダブルクリックする。 → ビデオ再生画面がポップアップ（5ページ 図7-2） → 再生終了 → 送信タグ画面にビデオが貼りつく（5ページ 図7-3）（ビデオファイルの容量によって貼りつくまでの時間は異なる） → EZPix の操作パネル（1ページ 図1）の送信ボタンをクリックすると送信が始まる。（ビデオファイルの容量によって送信時間は異なる） → 相手局が受信に成功した場合（1ページ 図1）の「RX Ok」枠に受信局数に応じたコールサインのリストが表示される。

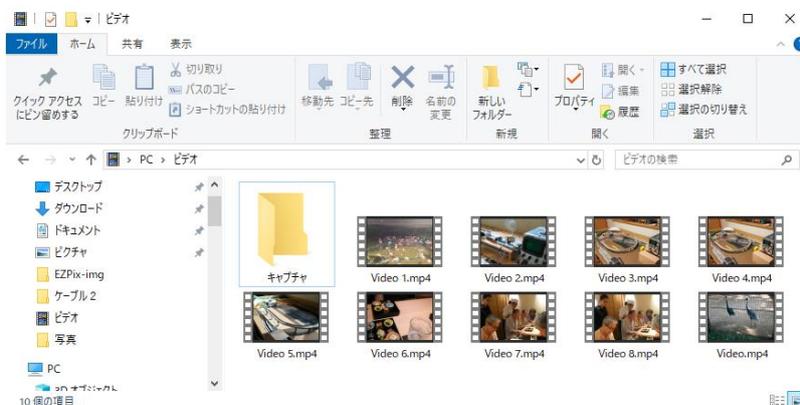
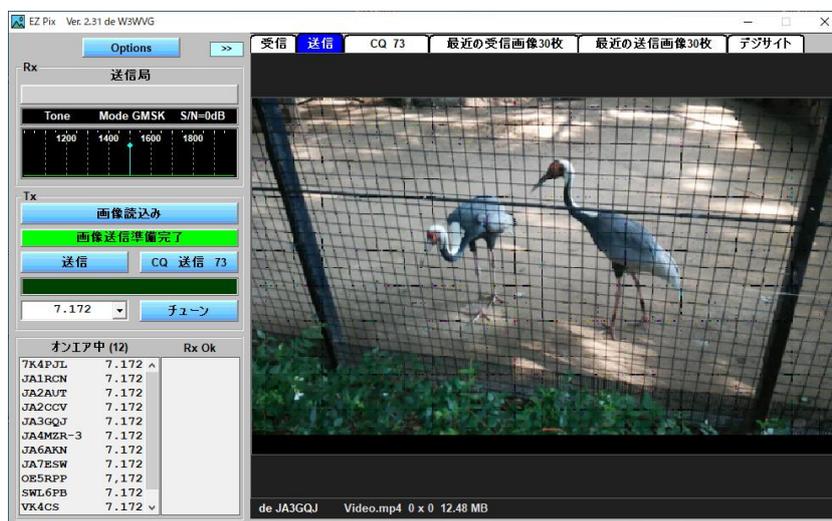


図7-1



(図 7-2)



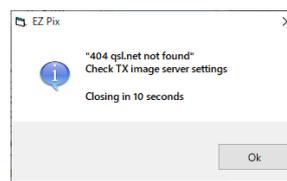
(図 7-3)

静止画像(jpg, gif, png, jp2)を送信する場合

送信タグに画像を張り付けるなど静止画像送信の手順はバージョン 1.12 と同じである。バージョン 2.31 ではビデオや静止画を送信した後に、言語が日本語の場合「図-8」のようなコメント（表現がおかしい）がポップアップし、言語設定が英語の場合「図-9」のようなコメントがポップアップする。英文のコメントを見る限り、ビデオや静止画のアップロード先は qsl.net の ftp サーバーを指定する仕様になっている。しかし、アップロード先を自分が使用する JA のレンタルサーバーに指定しても送信には何等支障はなくこのコメントの影響は受けない。



(図-8)



(図-9)

送信画像の加工

「送信」タグに画像を読み込んで画像を右クリックしたら「図 10-①」のようなリストがポップアップする。



図 10

ポップアップしたリストについて

- ・ 画像、文字、QSLカードの貼り付け

旧バージョンの体験記を参照

- ・ Rotate image (画像の回転)

文字の上にカーソルを当てる → 画像を回転する各度がポップアップする (図 11)

→ 選んだ角度だけ画像が回転する

貼り付ける画像がクリップボードにない	
画像、文字、QSLカードの貼り付け	90°
Rotate image	180°
Crop image	270°
Adjust brightness and color	
Restore unedited image from [Originals] folder<	

図 11

- ・ Crop image (画像のトリミング)

文字の上にカーソルを当ててクリックする → 「7ページ 図 12」がポップアップする → 画面右の黄色い枠を移動、拡大、縮小する → Crop Image フレームの「Apply crop」ボタンをクリック → 黄色い枠で選択したところを取り出される (7ページ 図 13) → 「Done」ボタンをクリック → 取り出した画像が送信画像になる (7ページ 図 14)

「7ページ 図 12」の左はオリジナルの画面で Crop Image フレームの「Undo crop」ボタンは選択を元に戻すボタンである

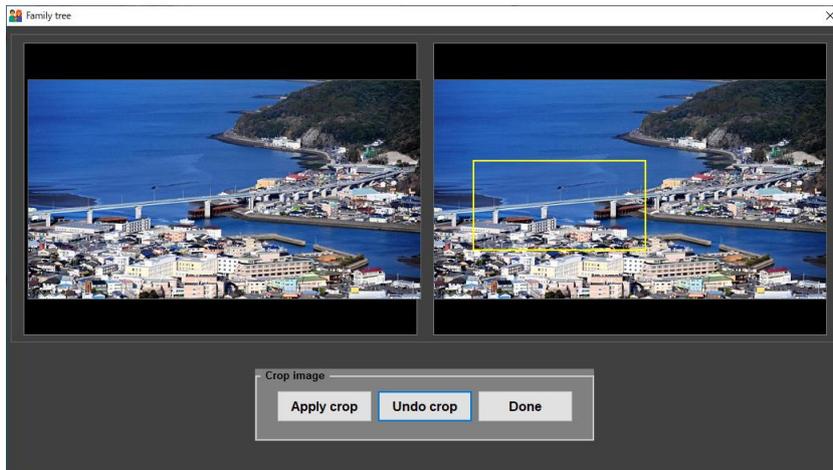


図 12

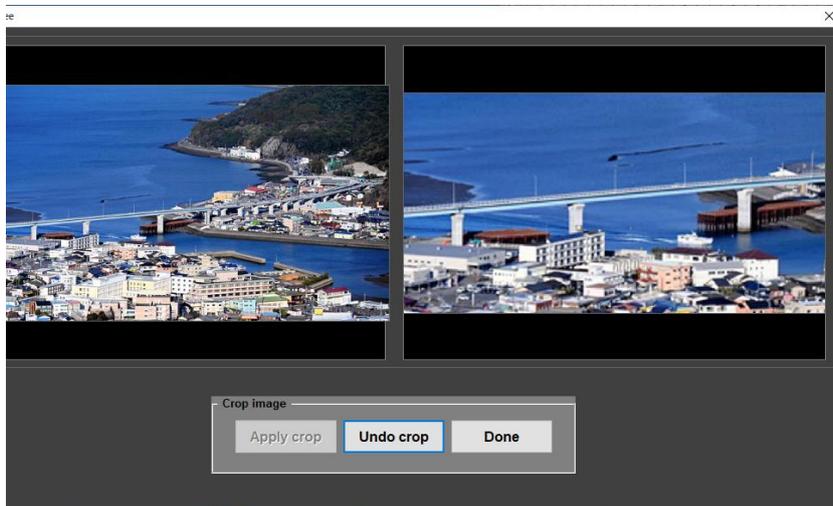


図 13



図 14

- Adjust brightness and color (明るさと色の調整)

文字の上にカーソルを当ててクリックする → 「図 15」がポップアップする → Adjust brightness and color フレームの Brightness (明るさ)、Color (色)、Contrast (コントラスト)、Hue (色相) をスライダーで調整 → 「Done」ボタンをクリックしたら変更決定。「Undo change」ボタンは変更を取り消す。



図 15

- Restore unedited image from [Originals] folder

画像をトリミングしたらこの文字が強調表示 (図 16) になる → 文字にカーソルを当ててクリック → 「図 17」のようにフォルダーから元の画像が復元される。



図 16

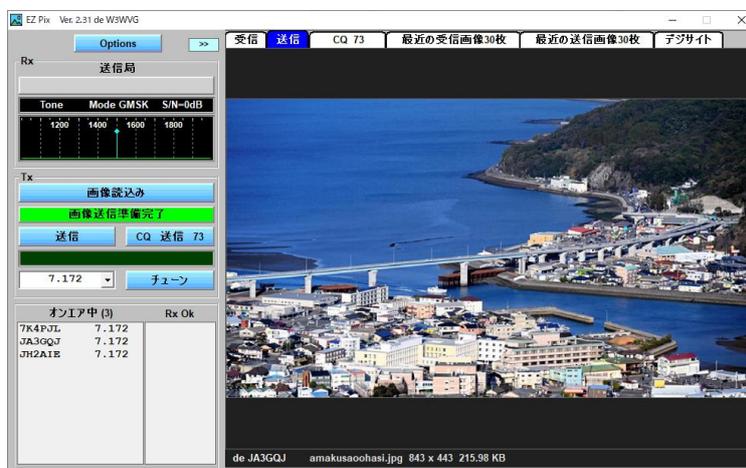


図 17

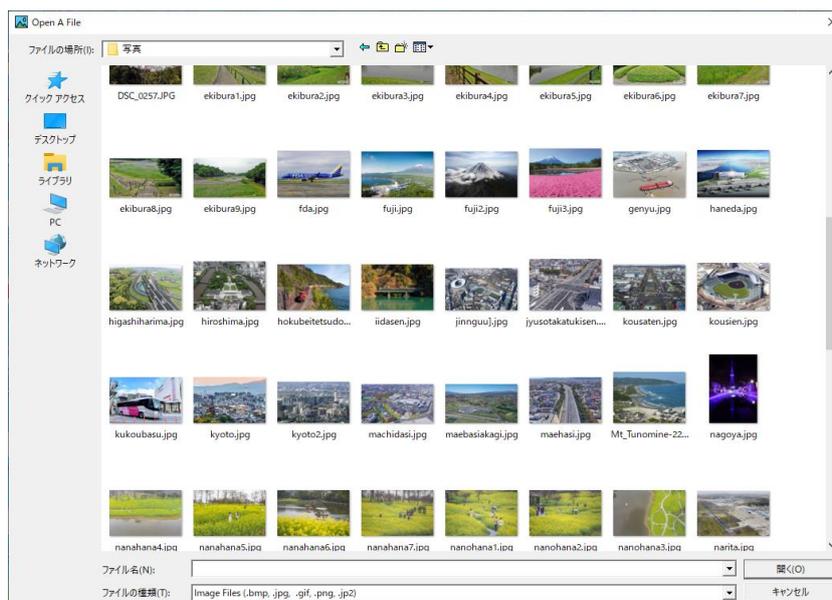
・「CQ 73」タグ (1 ページ 図 1-④)

CQ 画像を送信する場合

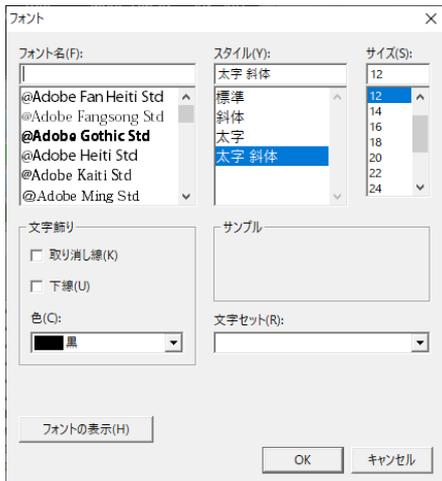
「CQ」ボタン (図 1 8-①) を選択 → 「CQ image」ボタン (図 1 8-②) で画像フォルダー (図 1 9) を開く → 画像を選択 → 「Font」ボタン (9 ページ 図 1 8-③) をクリック → Font を選択 (10 ページ 図 2 0) → 「Text color」ボタン (9 ページ 図 1 8-④) をクリック → 文字の色を選択 → 「Shadow color」ボタン (9 ページ 図 1 8-⑤) をクリック → 文字の影の色を選択 (10 ページ 図 2 1) → 「Shadow のスライダー」(図 1 8-⑥) で文字の影の深さを調整 → CQ 送信画像完成 (図 1 8) → 「CQ 送信 73」ボタン (図 1 8-⑦) をクリックして送信



(図 1 8)



(図 1 9)



(図 2 1)



(図 2 2)

7.3 画像を送信する場合

「7.3」ボタン（9ページ 図18-⑧）をクリック → 以下 CQ と同じ手順で7.3送信画像完成（図2.3） → 「CQ 送信 7.3」ボタン（9ページ 図18-⑦）をクリックして送信



(図 2 3)

・「受信」タグ（1ページ 図1-⑤）

ビデオ受信の場合

受信が始まる → 「画像をダウンロード中」の文字とプログレスバー（1.1ページ 図2.4）が表示される → プログレスバーが右端に来る → ビデオ再生画面（1.1ページ 図2.5）がポップアップ → 受信ビデオが再生される → 再生終了 → デジサイトにアップロードの表示（1.1ページ 図2.6） → 「受信」タグに受信

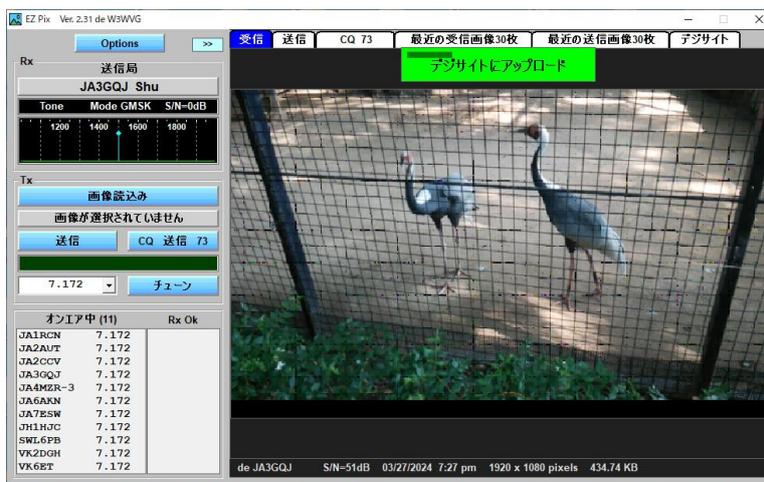
ビデオが貼りつく (12ページ 図27) → 受信終了



(図 2 4)

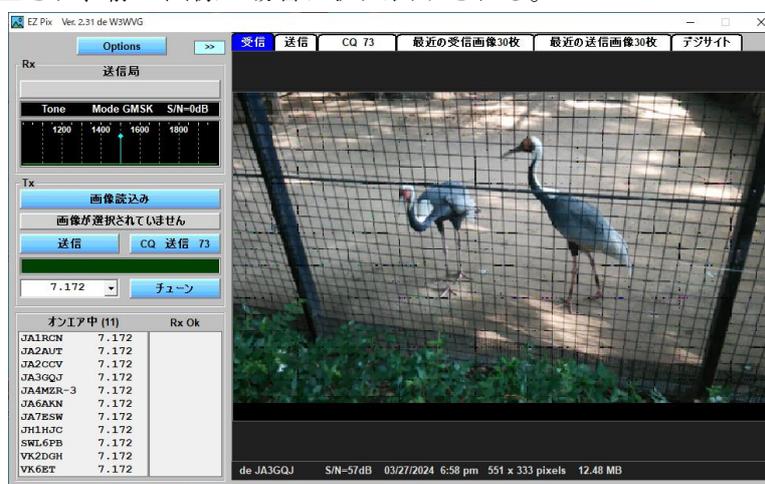


(図 2 5)



(図 2 6)

受信タグの画像がビデオの場合、画面をクリックしたらビデオが「11 ページ図 2 5」と同じ様に再生され、静止画像の場合は拡大表示される。



(図 2 7)

・「最近の受信画像 30 枚」タグ (1 ページ 図 1-⑥)

フィルムのロゴマーク (図 2 7-①) をクリックすると受信したビデオが再生される。また右クリックしたらコメント (図 2 7-②) が表示され「画像 (ビデオ) の保存」、「TX タグのウィンドウにビデオを送信 (読み込む)」、「デジサイトへのアップロード」等が出る。

画像 (図 2 7-③) をクリックしたら静止画像が拡大される。また右クリックしたらコメント (図 2 7-④) が表示され「画像のコピー」、「画像の保存」、「TX タグのウィンドウに画像を送信 (読み込む)」、「デジサイトへのアップロード」等が出る。



(図 2 7)

・「最近の送信画像 30 枚」タグ (1 ページ 図 1-⑦)

マウスのボタンの使い方は「最近の受信画像 30 枚」タグと同じだが「画像の保存」機能はない。フィルムのロゴマークを右クリックしたら「図 2 8 -①」が表示され、画像を右クリックしたら「図 2 8 -②」が表示される。



(図 2 8)

・「デジサイト」タグ (1 ページ 図 1-⑧)

30 局のデジサイトが登録できる (図 2 9)。フィルムのロゴマークをクリックするとデジサイトにアップロードしたビデオが再生される。画像をクリックしたらデジサイトにアップロードした画像が拡大される。



(図 2 9)

該当コールサインの画像やフィルムのロゴマークを右クリックすると当該局が受信した

「30枚の画像」の表示や「画像を保存」(図30-①)することが出来るが、アップロードされたビデオファイルが多いとデジサイトを開くのに可なり時間がかかる。

「図30」の404のエラーは本来フィルムのロゴマークが表示されるべきであるがアップロードするビデオの容量が大きい場合にエラーになるようだ(デジサイトバージョン6.51のエラー表示とは異なる)。画像やフィルムのロゴマークにマウスのカーソルを当てると当該送信局の「コールサイン」、「送信モード」、「送信日時」(図30-②)が表示される。



(図30)

3.その他

- ・テストバージョン2.31はビデオファイルを扱えることが目玉であるが、ファイルの容量が20MBを超えると受信した映像はその場で再生出来るがデジサイトにアップロードしたら「図31」のようなエラーが表示される場合が多い。この現象はデジサイトのftpサーバーの能力や使用するパソコンの能力に関係しており、個人差があるのではないと思う。



(図31)

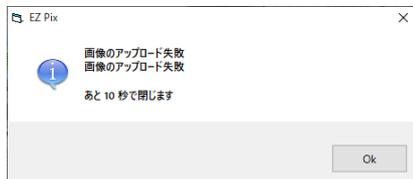
- ・ビデオファイルの容量が10~15MBであれば良好な結果が得られることを体験した。

容量が 10~15MB のビデオがデジサイトにアップロードされると「図 3 2」のようなフィルムのロゴマークが表示され、クリックしたら受信ビデオが再生できる。

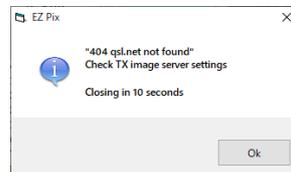


(図 3 2)

- 私は **starfree** の **ftp** サーバーを使用しているが、5 ページにも書いたように画像やビデオを送信した後に、「図 3 3」(使用言語が日本語の場合) や「図 3 4」(使用言語が英語の場合) のコメントがポップアップする。原因は、私が **qsl.net** の **ftp** サーバーを使用していないからである。しかし、画像やビデオの送信には何ら支障はない。



(図 3 3)



(図 3 4)

- **EZPix** テストバージョン 2.31 は **Digi-Sites** バージョン 6.51 との組み合わせで使われるべきであると思う。

As of April 1, 2024